

環境県民フォーラムだよ！

VOL. 30 2012年9月10日 発行



平成 24 年度総会が開催されました！



去る 4 月 20 日、奈良県環境県民フォーラムの平成 24 年度の総会が開催されました。総会では、昨年度の事業報告の後、本年度の事業計画・予算が承認されました。

これまでの主体事業「奈良県環境フェア」は、単独主催方式から、県内各地の主要セクターとの共催方式に転換。これは、新奈良県環境総合計画の施策の一つ「参加と協働による環境保全への取組み」を、これまで以上に依り効果的に行うことが望まれているからであります。

16 年目を迎えて、環境県民フォーラムの活動が重要な転換点にあることがうかがえます。

総会后、備前グリーンエネルギー株式会社・社長の武本洋一氏をお招きし、「地域エネルギー事業の取組みについて」と題して、講演をいただきました。講師の武本洋一氏は、エネルギーの地産地消を目指し岡山県備前地域において、地域特性にあった先駆的な事業取組みを市民出資型で実施されました。

武本氏に講演を依頼した背景は、3.11 の東北大震災・原発災害により、日本列島は災害・節電列島と化し、エネルギーの慢性的な不足が深刻な状況にあります。生活・産業エネルギーの地産地消はまったなしです。これからはすべての県民がエネルギーの地産地消を強く意識した行動が求められています。

先進事例を学び、奈良の地に合った再生可能エネルギーの地産地消への事業の参考にすることが目的。

取組み事業の概要（平成 17～19 年 3 カ年事業）

- ・狙い：地域発の創意工夫と幅広い主体の参加・・・全国モデルを狙う
 - ・効果予測：CO2 削減を通じた環境保全と雇用創出などによる地域・経済活性化
 - ・実施事業：省エネ ESCO 事業、木質ボイラー・ストーブ、太陽光発電、太陽熱温水
 - ・事業資金：環境省のモデル指定補助金、市民を含めたあらゆるセクターからの出資金(全国)
- この事業は成功し、出資者には、投資元本と配当が毎年定期的に還元されている。

総会参加者からは、この講演に意を強くし、前向きな質疑応答が活発に時間を惜しんで行われた。今後、この先進事例や他の国内事例も参考にしつつ、そう遠くない最適な時期に、奈良の地から「地域エネルギー事業」企画案が各地から、諸団体から起案されることを願ってやまない。

(環境ネットワークなら 西田三千男)



資源活用分科会

24年度の分科会活動計画

資源活用分科会では、平成24年度事業として「環境にやさしい買い物キャンペーンの推進」、広くごみの処理、処分、リサイクルの実態の把握及び自己啓発を目的とする「エコ見学会」、23年度に引き続き「修理屋リストの作成」の完成を目指します。また、他の関係機関と連携することによって、効果的にまた広がりをもった活動が可能になることを見据えて、「他の関係機関との協働による事業の実施」を進めていきます。

7月16日には「エコ見学会」として、天理市環境クリーンセンターと最終処分場（山添村中峯山地内）を見学しました。今後の予定として、11月頃、3月頃にも実施を予定しています。様々な活動を展開していく中で、どの活動にも共通するのは、『ごみも資源ももたら減らそう』という考え方であると感じました。同じ思いで活動されている方々との連携を深めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

(ならコープ 吉田)



エネルギー分科会

24年度の分科会活動計画

エネルギー分科会では、今年も環境県民フォーラムの全体事業であります「エコな～らライフ宣言」（ダイエットCO2事業）の事務を担当いたします。「エコな～らライフ宣言」とは、地球温暖化の原因となるCO2を少しでも減らすため、各家庭で省エネ行動の中から自分でできるものを「宣言」して実践していただくものです。そして皆さまの宣言量に応じて苗木を奈良県野外活動センターに寄贈（植樹）します。CO2を減らし、緑を増やす活動にご協力をお願いします。なお、10月28日（日）には県野外活動センターにて植樹バスツアーを計画しております。

また、環境にやさしいエコライフの提案・推進を目的に「鍋帽子を使ったエコクッキング」を平成25年1月16日（水）に開催を予定しています。ちょっとトクするエコのお話もさせていただきます。

CO2削減、省エネ活動への取り組みのきっかけとしてエネルギー分科会の行事にご参加いただければと思っています。上記の行事の詳細については、後日ご案内させていただきますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

(関西電力 北)



エコな～らライフ宣言

今年も7月10日より、エコな～らライフ宣言の募集を開始します。

宣言の締切は10月10日。今年も是非宣言し、植樹ツアーに参加しましょう！

宣言方法は以下の二通り

1. チラシに記入してFAXで送信（0742-22-1668）
2. 宣言webサイト（7月10日オープン）から宣言

(<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>)



新入会員の紹介

新入会員として **NPO 法人エコ葛城市民ネットワーク**（自然環境分科会）をお迎えしました。

賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは、賛助会員として活動を支援いただく企業、団体等を募集しております。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援くださいますようお願い申し上げます。

特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！り」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名（ご希望の方）を掲載いたします。
3. 主催事業（省エネクッキングなど）に優先的にご参加いただけます。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 県環境政策課内 TEL：0742-27-8732

E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp

大和の国・菜の花エコプロジェクト

菜の花だより 奈良県初の統一ブランド菜種油 「^{なのはな}奈乃葉菜油」 誕生！！



「奈乃葉菜油」のデザイン

この9月から8順目を迎える奈良県環境県民フォーラム(以下フォーラム)の菜の花エコプロジェクトですが、今年7月より、「かつらぎ菜の花プロジェクト」がフォーラムに加入し、自然環境分科会に所属することになりました。その他、大和郡山市元気城下町プロジェクトの城氏が中心となって展開するグループやNPO法人「明日香の未来を創る会」などともネットワークを組み、会議を進めております。この度奈良県の統一ブランド菜種油の「奈乃葉菜油」が完成します。会議でラベルデザイン(かつらぎ菜の花PJ梅田氏考案)、商品名、ボトル、販売価格等の決定をしたり、「なら橘プロジェクト」を立ち上げたりと、ますますパワーアップしております。9月16日の自然環境セミナーには一同が集まり、講演会、事例発表とともに「奈乃葉菜油」の試食・お披露目を致します。ご興味のある方は是非ご参加ください。
※商品名は奈良らしく万葉仮名で奈乃葉菜油に決定しました。

「なら橘プロジェクト」が始動しました



香しい橘の実



奈良市尼ヶ辻町の栽培地

この度、県内の菜の花プロジェクトのメンバーを中心に県内数カ所で橘の栽培が始まりました。大和郡山市の老舗和菓子屋と連携し、橘の実を使った薫り高い和菓子の製造販売を通して地域おこしの夢を目指します。そして、この活動が、農業離れによって急速に拡大しつつある休耕田や放棄地の有効活用につながることも願っています。

記紀には、垂仁天皇が田道間守を常世の国に遣わして「非時香菓(ときじくのかぐのこのみ)」と呼ばれる不老不死の力を持った霊薬を持ち帰せたという話が伝えられています。橘は、この「非時香菓」に当たるといわれています。

橘に縁のある奈良市尼ヶ辻町の垂仁天皇陵のすぐそばの休耕田でも栽培を始めました。近鉄電車の窓から見えるわかりやすい場所ですので、ぜひ訪ねてください。当面、菜種、胡麻、大豆などの栽培をしながら橘を育てていきます。不老長寿の果実と言われる「橘」の力を生かした夢の実現に向かって・・・。

尼ヶ辻フィールドでは、年間1口5000円で「橘オーナー」の募集を始めました。詳しくは下記まで連絡ください。

「なら橘プロジェクト」尼ヶ辻フィールド

代表：久保田有 (TEL&FAX 0743-69-2507)

編集 大和の国・菜の花エコプロジェクト事務局 NPO法人宙塾 <http://yamatonanohana.dip.jp>

イベント情報

自然環境セミナー「菜の花でげんきなまちづくり」

日時：平成24年9月16日(日)

場所：奈良市生涯学習センター3階

主催：奈良県環境県民フォーラム・自然環境分科会





出前講座（廃食油でエコ石けん作り）

昨年度より、小学生を対象とした出前講座を実施しています。

今回は、8月19日（日）に檀原市市民協働課の事業の一環で、檀原市内の小学生に、NPOやボランティアの活動について知ってもらう為の講座として、石けん作りをしました。

小学生低学年18名の参加で、元気にペットボトルを振り、賑やかな講座となりました。

田原本フィールド 10a NPO法人ほっとねっと TEL・FAX：0742-94-6800



今春、残念ながら雑草の中に埋もれてしまったナタネは、すき込んで、夏の作物の栄養としました。さて夏。昨年までは、磯城野高校教諭だった花岡先生を中心に磯城野高校の生徒、青少年自立援助センターブルームの実習生が汗を流して無農薬に近い状態で稲作をしていていましたが、花岡先生が他校に異動となり白紙に……。夏の作物について改めて検討した結果、大豆、ゴマ、ハトムギの栽培に挑戦することになりました。大豆は田原本北小学校の皆さんとともに栽培し、収穫した豆で味噌か豆腐づくりの体験学習をする予定です。また、引き続き畑の片隅で磯城野高校生により、近年採取が難しくなった葛の畑栽培による量産化にむけての実験続行中です。

奈良フィールド（北永井7a、佐保山7a） NPO法人宙塾 Email : ohzora.juku@gmail.com FAX : 0742-24-2258
菜の花移植・芋ほり・焼き芋体験 北永井フィールド 11月4日（日） 10：00～12：30

奈良フィールドでは、奈良市地球温暖化対策地域協議会（通称ならエコ・エコの和NEW）の環境教育プロジェクトの1事業の中で、奈良市の推し進める世界遺産学習・持続発展教育(ESD)の先駆的取り組みとして、菜の花エコプロジェクトを展開し、環境学習へとつなげております。9月より一般市民に対し、同プロジェクトのボランティア募集を行っております。ご興味のある方はご連絡ください。⇒ 奈良市地球温暖化対策地域協議会 事務局 奈良市 環境政策課 TEL : 0742-34-4591 FAX : 0742-36-5466 mail : new-nara@city.nara.lg.jp

天理フィールド（樺本町4a）環境市民ネットワーク天理 事務局長：中島 欣成 電話 090-3487-9556

昨年からは、天理市内では樺本町と田井庄町の2ヶ所で菜種の栽培を行っています。5月下旬から6月上旬にかけて菜種の刈り取りと脱穀の作業が行われ、収穫量は、2ヶ所合わせて約30kgとなりました。連作障害をどう乗り越えていくかが共に課題です。田井庄町の栽培地は、天理教の教会の皆様による活動で、今回が初めての収穫となりました。栽培面積も広く、教会長さんを筆頭に熱心に活動されていて、今後の活動が楽しみです。

御所フィールド（蛇穴8a、九品寺30a）管理：未来の環境を考える会 市環境政策課 TEL：0745-66-1087

今年も九品寺フィールドの菜の花栽培、頑張ります。たくさんの方に参加していただき、御所を元気にしたいです。

葛城フィールド 28a NPO法人エコ葛城市民ネットワーク（かつらぎ菜の花プロジェクト）市環境課 0745-69-3001

初めまして。7月からフォーラムの会員に加入させていただきました。どうぞよろしくお願いたします。